

# 令和2年度練馬区立北町小学校 学校評価

## 1 自己評価結果

### (1) 概要

#### ① やさしく：思いやりのある児童を育てる

- ・「特別の教科 道徳」の研究を深め、道徳の授業の充実を図ることができた。特に「他の人との関わり」「集団や社会との関わり」の指導に重点を置くことで道徳の授業が79%の児童が楽しい、好きな授業時間と答えている。課題としては、保護者とともに道徳教育を推進していくことであり、道徳だよりの発行や道徳授業地区公開講座を通して情報発信を行う。
- ・コロナ禍における教育計画の見直しと変更があったが、学級活動で月1回以上の話し合い活動を実施し、学級集団を育て、自己肯定感を高めることができた。「学級の時間」などを活用し、自主的実践的な態度を育てることも、ディスタンスをとりながら工夫した実践を行うことができた。課題としては、「新しい学校生活」の中で、引き続き工夫しながら話し合い活動を進めていくことである。
- ・年間指導計画を基にキャリアパスポートの作成を進めることができた。保護者に児童の学びや成長を示すことができた。課題としては、継続して積み重ねていくことで児童が実感しながら「よりよく生きる」ことや人とのかかわり方を考える態度を育てることである。

#### ② やしこく：基礎的基本的な学力の定着を図る。

- ・北町タイム・ぐんぐんタイムの有効活用し、授業時数の確保と基礎・基本の学習を行うことができた。算数習熟度別指導などの指導方法の工夫を通して、基礎的・基本的な学力の向上を84%の児童が実感している。保護者から87%が良い評価を得ることができた。
- ・ねらいの明確な授業を実践するとともに、授業改善プランを活用し「わかる授業」「できる授業」の実践を90%の教員が達成していると評価している。児童の評価として28%が課題を感じており、今後、さらに取り組みを進める必要がある。
- ・「授業中、みんなの前で発表することは好きですか。」及び「自分の考えを文章で書くことは好きですか。」についての児童の評価は、40%の児童が実感できておらず、困り感が感じられる。コロナ禍において話し合い活動や発表する活動が十分に行えず、今後、「新しい学校生活」において、どのように実現していくか、より良い教育活動になるよう工夫が必要である。

#### ③ たくましく：体も心もたくましい児童を育てる。

- ・昨年度までの校内研究の成果を生かし、体育授業の充実を図ることはできた。児童は、体育の評価を86%が良い評価をしている。体力テストの結果から重点課題を把握し、体力向上の取り組みを進めるとしてきたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を最小限で行うにとどまった。これについても、「新しい学校生活」に対応した学びを進めることが課題である。

#### ④ 家庭・地域との連携：開かれた学校づくりの推進

- ・学年通信の発行・HPの更新を月1回以上行い適正な情報発信をすることはできた。特に、コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休校期間においても適切に課題等を示すことができた。保護者会については、時期と新型コロナウイルス感染症予防対策を行い、2回行い保護者へ適切な情報を示すことができた。課題としては、練馬区から児童に貸与されているタブレットパソコンの活用をさらに進めることである。

#### ⑤ 教職員の資質の向上

- ・年間2回のサービス事故防止、その他の事例研修を通して、事故防止への意識を高めたが、個人情報をとまなうUSBメモリの紛失事故をおこした。今後、再発防止対策を徹底しサービス事故0とする。
- ・コロナ禍において「新しい学校生活」の実践をさらに進める上で、あいさつやあとしまつなど基本的な生活習慣を見直すことが、課題である。
- ・本校を初任校とする教員や産育休による臨時的任用教員が多く、教職員の指導力の向上は、児童の学力向上を図るために課題である。今後、指導教諭による研修計画の充実とOJTを推進し、教員の授業力の向上を組織的に図っていく。

### (2) 根拠となる資料：別紙 令和2年度 練馬区立北町小学校 学校評価（A4版 1枚）

## 2 学校関係者評価

### (1) 総括

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校評議員による学校関係者評価を来校していただく形で開催することは見送った。学校より「令和2年度 練馬区立北町小学校 学校評価（A4版 1枚）」を送付して、各評議員からご意見・ご質問をいただき、評価活動を行った。

#### ① 成果

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校の教育活動は多くの苦労があったと思われる。その中で、体育発表会や音楽会に変わる校内でのビデオ上映など、工夫があり子供たちの教育活動は充実したものになっていると思う。
- ・年々子供たちがよくなっているように思う。優しい心をもった子供が多い。放課後や学校公開で子供たちを見るが、楽しそうに過ごしている。教員や地域の目がゆき届いているのを感じる。
- ・「特別な教科 道徳」の授業に学校の重点課題として取り組んでいることは評価できる。よい内容であり、継続されることで、テーマについて考え改善しようとする態度が育成されることが期待できる。
- ・特別支援学級と通常学級の交流で人とのかかわり方など学べるものは大きい。これからも取り組んでほしい。

#### ② 問題と改善策

- ・「新しい学校生活」における教育活動は、今後も課題があり大変な努力が必要と思う。練馬区から貸与されていた児童用のタブレットパソコンの活用も今後、期待している。  
→常に課題意識を持ち、先進的な事例となるよう教育活動に取り組んでいく。多くのことにどうすればできるか工夫し、実践を通して児童の育成を図る。
- ・学習規律については、学校の基本として大切である。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、授業のやり方も変わったと思う。その上で、新たな工夫も必要であり、話の聞き方や学習準備に課題があるように思う。  
→「新しい学校生活」をどう指導していくか、教員が課題意識をもち、さらに引き上げたいと考えて指導することを期待している。北町小スタンダードを基本指導事項として、共通理解のもと、全校で取り組むことが大切である。
- ・家庭学習の習慣が身に付いていない児童がいる。家庭学習を増やしてほしいと望む保護者もいれば、手をつけていない児童もいる。  
→家庭学習の習慣化については、家庭の協力も必要である。練馬区から貸与されているタブレットパソコンの活用を進め、家庭と学校が協力して取り組み学力を向上させる必要がある。

### (2) 根拠となる資料 別紙 令和2年度 練馬区立北町小学校 学校評価（A4版 1枚）

## 3 評価結果の公表等

校内では、評価結果を参考にしながら、新年度計画を検討協議した。その中で、すぐにも改善できること、改善に向けて努力していくことなど来年度に向けての学校としての考えをまとめ、学校からの回答も記述して「北町小学校アンケート結果」としてまとめた。A4判2ページにまとめた「北町小学校アンケート結果」は、3月24日（水）に全家庭、地域の方、関係者の皆様に配布し、北町小学校ホームページに公開する。学校からの回答としたものについては、教育課程の中に位置づけたものもある。努力目標としたものについては、新年度各担当主任を中心に検討することとし、改善できること・改善するための障害などを明らかにさせる。

## 4 次年度の学校改善へ向けた校長の見解

- 本年度、重点課題として取り組んだ「心の教育」の充実に関して、子供たちの「思いやりの心」の育成は、「特別な教科 道徳」の研究を進め、児童の変容が見られる。
- ・いじめとして取り上げるような事例は起きていないが、からかいや意地悪、乱暴な言葉遣いを平気で行っているという実態が見られる。改めて道徳や人権教育等の指導計画を見直し、心優しい子供の育成に全校挙

げて取り組む。特に自他の生命尊重、人権尊重に関わる指導については、教員の指導力を高めるとともに道徳教育や特別活動を意図的計画的に進める。校内研修を「特別な教科 道徳」とし、児童の心を育て、生きる力の育成を図る。

- ・いじめ防止に関しては、学校組織をあげていじめは絶対許さないという毅然とした態度で取り組む。また、都や区のふれあい月間と連動させて6月・11月・2月には子供にアンケートを採り実態把握に努める。あわせて児童との個人面談を実施して、児童間の問題の早期発見、早期解決に取り組む。

○基礎的・基本的な学力の定着では、授業のめあてやねらいを意識して進んで学習しているかについて72%の児童が授業は「できている」と答えている。しかし、29%の児童が「そうおもわない・わからない」としており課題がある。児童の「授業中に発表する」「自分の考えを文章で書く」に関する評価にも40%が「できなかった・わからない」としている。新型コロナウイルス感染拡大防止ため、十分に行えず、今後の課題である。

- ・「新しい学校生活」において、児童が自分の考えに自信がもてるよう、校内研究で取り組んだ対話形式の学習や、3人～4人のグループでの話し合いを、国語の授業以外での活用を一層進める。少人数での発言を元に、学級全体での話し合いにつなげられるような学習活動を工夫し、活発な意見交換が見られる授業改善をさらに進める。
- ・引き続き、児童にとって「分かる授業」「楽しい授業」を目指す。また、学力向上支援講師や少人数指導講師の効果的な活用法を工夫するとともに、「北町タイム」を充実させて、一人一人の児童の基本的な学力の定着・向上を図る。

○教員の資質向上に関しては、若手教員もベテラン教員も協働して校内研究を進め、成果を上げている。しかし、年々特別な配慮を要する児童が増加している。教員の特別支援教育に関する研修を充実させる。

- ・児童理解の方法など生活指導に関する校内での研修を複数回実施し、研修を深めさせるとともに、発達障害の児童の特性を知り、対応方法を身につけさせる。
- ・スクールカウンセラーや心のふれあい相談員と連携して、児童の心の安定を図るとともに、受容的な学級の雰囲気作りに努めさせる。
- ・各学年をベテラン教員と若手教員が組むような構成を工夫して、各学年団をグループとしたOJTが実施できるように組織する。それをもとに学習指導力や分掌事務遂行力を相互に磨き合えるよう工夫・改善する。

○開かれた学校づくりを一層進める。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底して行いながら、学校の公開を進める。来年度も6月から2月までの第2土曜日を原則学校公開日として設ける。
- ・学校だよりを通じて日頃の教育活動を地域の方々にも紹介する。また、直近の学校の活動や情報を保護者はじめ多くの方に知らせる意味からも、学校HP担当を組織して、学校ホームページの活用・充実をこれまで以上に図っていく。

○安全で安心な学校体制をつくる。

- ・学校で起きた子供に関することは、早めに必ず保護者に連絡を取って情報を共有するとともに子供たちの健全育成にむけて、学校・家庭が同一步調で課題の解決に当たる。
- ・学校連絡メール配信を今年度途中に導入して、活用を図っている。来年度も適切かつ迅速な運用に努めるとともに、安全・安心な学校環境の維持・管理を図る。
- ・安心安全ボランティアの方々に来校者に気配りしていただくとともに、教職員も声を掛け合って校内の安全チェック体制を強化し、児童が安心して学校生活を送れるようにする。

令和2年度 練馬区立北町小学校 学校評価

経営目標		教職員・努力指標	達成率		児童・成果指標	達成率		保護者・成果指標	達成率			
中期経営目標	短期経営目標		割合	人数		割合	人数		割合			
やさしく	思いやりのある児童を育てる	1 校内研究として「特別の教科道徳」の研究を深め、道徳の授業の充実を図る。特に「他の人との関わり」「集団や社会との関わり」の指導に重点を置く。	1	32%	(1)道徳の授業は好きですか。	1	279	45%	(1)お子様と、道徳科の授業の話をお願いしますか。	1	33	5%
			2	47%		2	209	34%		2	116	18%
			3	21%		3	71	11%		3	178	28%
			4	0%		4	40	6%		4	209	33%
	一人一人のよさを認めながら望ましい人間関係を育い、需要的な集団を育て「いじめをしない、させない」学級・学校を作る。	2 全教員が特別支援教育への理解を深めるとともに、児童にも特別な支援を必要とする児童への理解を深める実践の充実を図る。	1	55%	(2)だれにでも、やさしくしていますか。	1	257	42%	(2)お子様は、周りの友達に公平な態度で接していると思いますか。	1	268	43%
			2	30%		2	221	36%		2	282	45%
			3	15%		3	51	8%		3	31	5%
			4	0%		4	16	3%		4	9	1%
	一人一人のよさを認めながら望ましい人間関係を育い、需要的な集団を育て「いじめをしない、させない」学級・学校を作る。	3 学級活動で月1回以上の話し合い活動を実施し、学級集団を育て、自己肯定感を高める。「学級の時間」などを活用し、自主的実践的な態度を育てる。	1	45%	(3)学級活動(係・当番など)に、進んで取り組んでいますか。	1	342	59%	(3)お子様は、学級活動(係や当番などに)、積極的に取り組んでいると思いますか。	1	326	52%
			2	44%		2	148	25%		2	217	35%
			3	11%		3	61	10%		3	41	7%
			4	0%		4	21	4%		4	6	1%
一人一人のよさを認めながら望ましい人間関係を育い、需要的な集団を育て「いじめをしない、させない」学級・学校を作る。	4 キャリアパスポートの作成を通して、自分の学びや成長を実感しながら「よりよく生きる」ことや人とのかかわり方を考えさせて育てる。	1	10%	(4)キャリアパスポートをもとに、なりたい自分について考えていますか。	1	273	45%	(4)お子様のキャリアパスポートの内容をご存じですか。	1	293	47%	
		2	53%		2	179	29%		2	162	26%	
		3	37%		3	82	13%		3	53	8%	
		4	0%		4	30	5%		4	18	3%	
かしこく	思考力・判断力・表現力の育成を図る。	5 北町タイム・ぐんぐんタイムの有効活用。算数習熟度別指導などの指導方法の工夫を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図る。	1	21%	(5)北町タイム・ぐんぐんタイム・少人数算数で、力がついてきたと感じますか。	1	297	50%	(5)授業を通して、基礎・基本の学力がついてきていると思いますか。	1	230	37%
			2	63%		2	164	27%		2	313	50%
			3	16%		3	64	11%		3	47	7%
			4	0%		4	19	3%		4	20	3%
	基礎的な学力の定着を図る。	6 ねらいの明確な授業を実践するとともに、授業改善プランを活用し「わかる授業」「できる授業」の実践を進める。	1	55%	(6)授業のめあてやねらいを意識して、進んで学習していますか。	1	253	41%		1		
			2	40%		2	187	31%		2		
			3	5%		3	112	18%		3		
			4	0%		4	30	5%		4		
	言語活動(聞く、話す、書)の充実を図る。	7 各学年、年1回以上の学習発表の場を設け「話す・聞く」能力の向上を図る。	1	35%	(7)授業中、みんなの前で発表することは好きですか。	1	211	33%	1 できた、そう思う 2 どちらかと言えばできた、そう思う 3 どちらかと言えばできなかった、そう思わない 4 できなかった、そう思わない 5 わからない	1		
			2	55%		2	132	21%		2		
			3	10%		3	135	21%		3		
			4	0%		4	129	20%		4		
児童の語彙力を向上させ、自分の思いや考えを積極的に書き表そうとする児童を育てる。	8 児童の語彙力を向上させ、「自分の思いや考えを書く」力を伸ばすための工夫をしている。	1	25%	(8)授業中、自分の考えを文章で書くことは好きですか。	1	255	41%		1			
		2	70%		2	126	20%		2			
		3	5%		3	118	19%		3			
		4	0%		4	90	14%		4			
たくましく	体も心もたくましい児童を育てる。	9 昨年度までの校内研究の成果を生かし、体育授業の充実を図る。体力テストの結果から重点課題を把握し、体力向上の取り組みを進める。	1	33%	(9)体育の授業を工夫して、体力向上のための取組を進めている。	1	421	72%	(6)体育の授業などを通して、体力が向上していると思いますか。	1	173	41%
			2	45%		2	81	14%		2	277	66%
			3	22%		3	41	7%		3	119	28%
			4	0%		4	30	5%		4	30	7%
	家庭や地域と連携した教育活動の充実を図る。	# 体育朝会や体力向上週間などの取組を通して、体力の向上とたくましい心を育てる。	1	11%	(10)縄跳びや持久走の取り組みに参加していますか。	1	296	49%		1		
			2	78%		2	136	22%		2		
			3	11%		3	82	14%		3		
			4	0%		4	58	10%		4		
家庭・地域との連携	# 開かれた学校づくりの推進	# 学年通信の発行・HPの更新を月1回以上行い適正な情報発信をする。保護者会や個人面談の充実を図る。家庭学習の習慣化を図る。	1	21%	(11)学年通信の発行・HPの更新などを行い、適正な情報を発信している。	1		(7)北町小学校は、学年通信やHPなどで適正な情報を発信していると思いますか。	1	189	30%	
			2	53%		2			2	302	48%	
			3	26%		3			3	66	11%	
			4	0%		4			4	22	4%	
						5			5	46	7%	
教職員の資質の向上	# 教職員が協働し、学びやすい環境作りを行う。	# 事務室や主事室も含め、全教員が児童の学習環境整備を進める。	1	70%	(14)安全で学びやすい学習環境整備に努めている。	1		(8)北町小学校は、安全で学びやすい環境整備に努めていると思いますか。	1	253	42%	
			2	30%		2			2	282	46%	
			3	0%		3			3	45	7%	
			4	0%		4			4	10	2%	
	# 年間2回の勤務事故防止、その他の事例研修を通して、事故防止への意識を高める。	# 年間2回の勤務事故防止、その他の事例研修を通して、事故防止への意識を高める。	1	80%	(15)校内の各研修を受講し、勤務事故防止に対する意識を高めている。	1			1			
			2	20%		2			2			
			3	0%		3			3			
			4	0%		4			4			